

萬福寺だより

第18号

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2014年春号／no.18／平成26年3月1日発行



静まりかえった客殿

土曜日に降った雪が山門の屋根に残る2月11日（火）の祝日に、第3回写経会が萬福寺客殿で行われました。本年度最終の写経会とあって29名が参加、終了後にはこれまでに皆さまが書きになった写経を奉納する奉経調経が本堂で執り行われました。

午後1時からの写経会では、「般若心経」を手本に、静寂のなか皆さま真剣に筆を運ばせていました。早く書き終えた参加者は、波田野草研修委員長がお待ちになった「延命十句観音経」の写経も行いました。

25年度第3回写経会、奉経調経を開催（2月11日火）

参加者全員で「般若心経」を唱和



安本由道副住職様（写真左上）の読経にあわせて「般若心経」を唱和する参加者

この「延命十句観音経」は波田野研修委員長が馬込小5年生のとき集団疎開をした静岡県焼津のお寺のご住職様から教えていただいたもので、親元を離れさびしがつていた児童みんなで覚えたそうです。最近、写経の手本としてあるのを見つけた持参されました。

このあと2時半から安本由道副住職様式師のもと、参加者全員で「般若心経」を御唱和し奉納しました。

安本由道副住職様からは「無になつて写経をされている皆さまのお姿は、座禪の姿です。み仏の教えである『般若心経』をお書きになることで、「正見」の目（物事をありのまま、真実のままに見ること）が養われます。毎日の忙しい生活の中で



2 週連続の大雪となった2月15日午後3時から涅槃会法要が本堂で行われました。この日はお釈迦様が入滅された日、本堂右側に掲示されている「大涅槃図」（お釈迦様の入滅の様子を描いた絵画）の前で、安本利正住職様の式師のもと、厳かに御法要が行われ、参加者全員で焼香しました。

涅槃会法要

平成26年2月15日（土）

ひとときでも写経する時間を設けていただき、心を整えていただくと、正しい見方、考え方が持てるようになり、落ち着いた人生を送れるのではないのでしょうか。本日の法要では皆さまのご健康もあわせてお祈りしました」とのお言葉をいただきました。

また、波田野研修委員長からは参加者の皆さまへ感謝の言葉が述べられ、来年度の研修会行事への参加ご協力をお願いがあり、法要を終了しました。



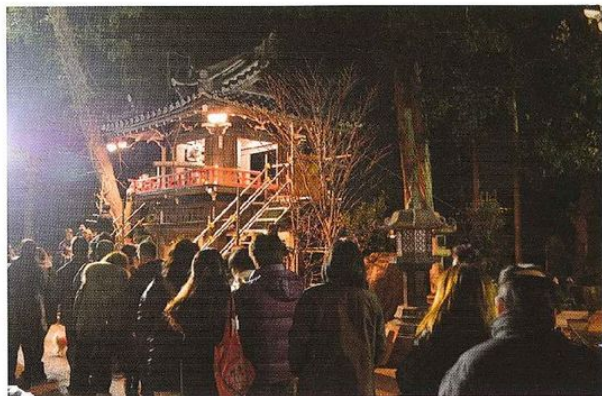
第2回写経会は昨年12月15日（日）に15名が参加して実施

春彼岸は3月18日～24日です。

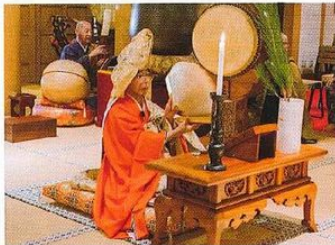
皆様でお墓参りにお出かけください!!

21日（春分の日）午後1時から法話、2時より彼岸法要が行われます。

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。



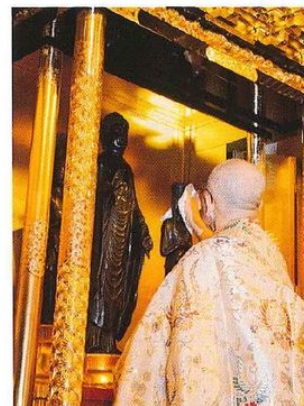
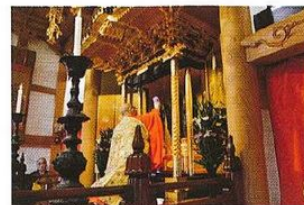
安本利正ご住職様はじめご僧侶の転読（写真右）のあと新年の無病息災を祈る参列者（写真左）



去る12月31日の大みそか、午後11時から多くの参拝者が参列して正月大般若会御祈禱誦経が執り行われました。安本利正ご住職様はじめご僧侶の皆さまによる厳かな中にも華やかな転読（大般若波羅蜜多心経）全600巻をめぐり読誦が行われ、今年1年の感謝と、新しい年の幸福を祈って参加者全員で手を合わせました。

その後、心なしか寒さのゆるんだ境内の鐘樓門では除夜の鐘つきが行われました。境内には大きなストープが置かれ、護持会の皆さまの御奉仕による甘酒で暖をとりながら幾重にも列をつつた420名余の参拝者が、新年の無病息災を願って鐘をつきました。なお、正月大般若会御祈禱誦経は正月三が日にも行われました。

新しい年の無病息災を願って 除夜の鐘つき、正月大般若会御祈禱誦経



安本利正ご住職様のお身拭いで光り輝く御本尊



中央は大きな阿彌陀如来立像、右は少し小さい観音菩薩立像、左は勢至菩薩立像

昨 年12月14日午前11時から本尊阿彌陀如来三尊仏の沐浴（お身拭い供養）が護持会の皆さまはじめ多くの参拝者が出席するなか執り行われました。御法要に続いて、安本利正ご住職様が御開帳になった三尊仏を木綿の浄巾でお清めし、1年の埃を払い、新年を迎える準備が整えられました。なお、御開帳はこの日のほか、正月二が日も行われました。

本尊阿彌陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳

平成25年12月14日（土）

〔安本利正ご住職のお言葉〕
毎年お身拭いの儀式を行っています。浄巾でお顔をなで、肩から全身をお身拭いするたびに、この黒光りした仏像のなかに阿彌陀様があらわれるのだな」との思いを新たにいたします。もともとは金箔で光っていましたが、250年ほど前の江戸時代の半ば、明暦年間に本堂とともに火災に遭い、金箔が消えてしまいました。考えてみますと、黒光りでお身拭いしています。大変な驚きです。言い伝えによりますと、ある年、お身拭いの行事を休んでしまったところ、翌年に病がはやって大変な目に遭い、さっそく反省してお身拭いを行ったところ病気が消えたそうです。また、昔はお身拭いたきれ（布）を小さく切って参詣の人に分けたという話が残っています。さ



御本尊を間近で拝観しながらご焼香する参拝者

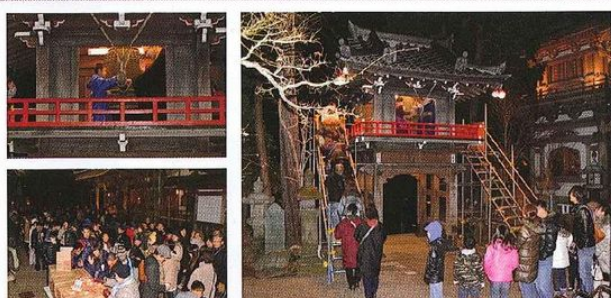
御本尊

萬福寺の御本尊様（善光寺式阿彌陀如来三尊）は高さ88cmもあり、この様式では日本で2番目の大きさです。「三尺仏あるいは半身仏」と呼ばれ鎌倉時代初期（1200年代前半）の立派な三尊仏です。

中央には大きな阿彌陀如来立像、右に少し小さい観音菩薩立像、左に勢至菩薩立像を配し、芸術性においても高い技量を感じさせる由緒ある立像です。

〔善光寺式阿彌陀三尊〕

善光寺式阿彌陀三尊とは、信州の善光寺の本尊仏を模した形式とされています。中尊の阿彌陀如来は大衣を両肩にまとい、左手を垂下して第二指と第三指を伸ばし、他の指を折り曲げて、刀印と称する形を表わし、右手は華指を前に向けて金指を伸ばして、施無畏印と称する形を表わしています。右の脇侍は観音菩薩で至賢に仏像をつけ、左の脇侍は勢至菩薩で三冠に水瓶をつけています。両像とも両手を胸前で掌を合わせた形をしています。

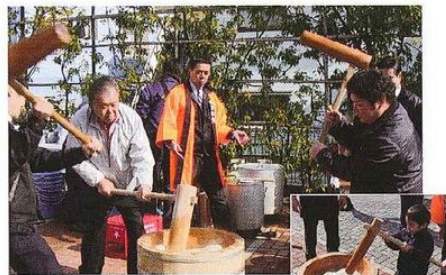


大型ストープで暖をとりながら列を作って鐘つきの趣意を待つ参拝者

中 梶原殿まつり
平成26年2月1日（土）、3月1日（日）
「もちつき大会」「びっくり朝市」を開催
萬福寺梶原殿ホールでは2月1日（土）、3月1日（日）の両日に「梶原殿まつり」として、「びっくり朝市」を午前9時から、「もちつき大会」を午前11時から開催し、地域の皆さまと交流を図りました。



新鮮な野菜が売り出される「びっくり朝市」は毎回、新鮮な野菜が売り出されるとあって、すでに地域の皆さまから好評をいただいています。また「もちつき大会」では、もちつきを体験しようと子供たちが集まり、大人の力を借りて重い杵を振り下ろしていました。つきあがったお餅は皆様にプレゼントされました。梶原殿ホールでは地域貢献として、住民参加型のイベントを開催しています。次回開催時にはお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。



大人も子供も人振りきりで300人分のもちをつきました

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

INFORMATION

仏事のご案内 ご家族皆様で参加しましょう

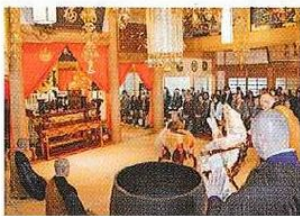
3.21

春彼岸法要(心の法話)

午後1時から法話、2時から法要

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように四季のはっきりしている日本では、彼岸は1つの区切りでもあります。春分の日、太陽が真東から上って真西に沈みます。西方の彼方にある阿弥陀如来の極楽浄土に思いをはせながら、ご先祖様からいただいた今ある幸に感謝し、ご家族でお墓参りしましょう。

今年は3月18日(火)が彼岸入り、21日(金)お中日(春分の日)、24日(月)彼岸明け、です。



4.8

花まつり

午前11時から

4月8日はお釈迦様の生誕を祝う「花まつり」が行われます。屋根や四方を花で飾った花御堂をつくり、その中に釈尊の誕生仏を安置し、お釈迦様の頭に甘茶を注いで讃仏します。甘茶は釈尊誕生を喜んだ竜王が、甘露の雨を釈尊の頭に降らせたという伝説によるものだそうです。当口は甘茶のティーバックを差し上げますので、ご家族皆様でご賞味ください。



トイレ・水場改修工事のお知らせ

使いやすい水場、きれいなお手洗いを目指して

萬福寺では山門(入口)脇にある東司(お手洗い)、「お参り用手桶置き場」、井戸周辺の改修工事を行っています。これに伴い、完成のあかつきには使用不可能な手桶をお寺で回収したいと思います。もし、ご自分で管理されたい方がいらっしゃいましたら、お寺にお申し出のうえ、お持ちくださいますようお願いいたします。

春の彼岸までに完成させる予定です。なお現在、水場に関しましては仮設をご用意していますので、こちらをご利用ください。また、各家の手桶も檀信徒皆様で共同でお使いいただきますようお願いいたします。使いやすい水場、きれいなお手洗いを目指しての改修工事に、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

萬福寺 寺務所



「お手洗い」等を撤去し整地された入口脇



仮設の水場



一部擁壁の改修工事にあわせて実施

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03 3771 2025

※ 親原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

東京では昨年も「成人式」に雪がつもり、交通機関の混乱で大騒ぎでした。今年もまた、17年ぶりの大雪とすることで、梅の花の咲きかけた折に東京も一面の銀世界となりました。大雪の年は豊作と言われる。そろそろ桜の開花も気になることです。

護持会研修委員会主催の写経会も、回を重ねるごとに盛会になっています。今号にも報告のあるとおり、2月11日の写経会後に今年度の写経納めの奉経誦経が本堂で行われました。その後の懇親会では、副任職様も交えて皆様の話に花が咲き、くつろぎのひとときとなりました。

もうすぐ春のお彼岸です。今年も萬福寺護持会では多彩な活動・行事を企画中です。皆様のご参加をお待ちしています。